

熊建労5400人の力を合わせた

熊本地震救援ニュース

2016年8月1日(月)

第38号

発行 村上久義教宣部長
TEL096-283-7811

8月は、全支部より体制を整え 一気のボランティア訪問体制とします

1、被害状況 (該当支部)

8/1 9:00 現在

	城北	菊鹿	阿蘇	東部	西部	宇城	八代	計
ケガ		0	0	7	6	10		23
全壊		2	1	78	14	20		115
半壊	1	9	3	203	20	41	3	280
瓦・一部	15	22	6	335	40	157	9	584
地盤沈下 液状化			1 (川沿い)					1
土石流避難			4					4

(1) 被災地の状況

- 事務所に来所した組合員との対話の中で、借家に住んでいるため半壊で何も手続きがないと思っていた組合員がいた。
- 申請をした組合員が周りに広げ、一部損壊の申請が少しずつ増えてきている。
- 被害件数が多い東部支部での共済申請が、40% (252件) となり徐々に増えてきている。

2、支援活動

(1) 7月全国の県連・組合からの支援

- 東京土建一般労働組合渋谷支部より物資が届きました。
- 全京都建築労働組合・東京土建一般労働組合豊島支部より義援金を頂きました。

(2) 8月ボランティア予定

- 7日・21日・28日の3日間で、全支部よりボランティア派遣を要請し、本部・支部で一気に訪問体制をとるものとする



挨拶する三浦委員長と勝野書記長 (右)

全建総連三浦委員長が 執行委員会で激励のあいさつ

宇土近辺もまだブルーシートがかけてある現状に、全建総連三浦委員長から「全国の仲間が辛い状況は分かっているから、遠慮しないで声をかけて」と勝野書記長から「十二分に力を発揮している仲間の頑張りを支援していく」と南阿蘇の仮設住宅視察前に執行委員会で激励のあいさつをいただきました。